

プログラム（第3日目） 11月27日（火）

《 口 演 》

8:00～8:50 一般口演-6 小児脳腫瘍

座長 澤村 豊、杉山 一彦

- O-3-31 MicroRNA-371-373 および 302a は中枢神経胚細胞腫瘍の有望な髄液中腫瘍マーカーである
独立行政法人 国立成育医療研究センター 腫瘍科 寺島 慶太
- O-3-32 頭蓋内ジャーミノーマでは c-kit/RAS 遺伝子変異を高頻度に認める
国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 福島慎太郎
- O-3-33 再発頭蓋内胚細胞腫瘍に対する治療
埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 小児脳脊髄腫瘍部門 柳澤 隆昭
- O-3-34 小児上衣腫の長期治療成績と今後の課題
新潟大学 脳研究所 脳神経外科 吉村 淳一
- O-3-35 Atypical Teratoid / Rhabdoid Tumor の遺伝子病理診断と治療の最前線
北里大学 医学部 脳神経外科学 岡 秀宏

8:50～9:50 一般口演-7 支持療法、QOL

座長 隈部 俊宏、柳澤 隆昭

- O-3-36 テモゾロミド初期治療プロトコールに伴う悪心・嘔吐発現のプロファイル解析
筑波大学 医学医療系 脳神経外科 松田 真秀
- O-3-37 EORTC-QLQ C30/BN20 を用いた神経膠腫患者の QOL 評価と臨床試験への応用について
国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 成田 善孝
- O-3-38 小児脳腫瘍における多職種連携について～臨床心理士の役割～
広島大学病院 小児科 井上 雅美
- O-3-39 小児脳腫瘍における多職種連携について～チャイルド・ライフ・スペシャリストの役割～
広島大学病院 小児科 藤原 彩
- O-3-40 サポートグループを用いた脳腫瘍患者の家族に対する心理社会的支援の取組み
国立がん研究センター 相談支援室 樋口由起子
- O-3-41 小児脳腫瘍患児家族とともに
がんの子供を守る会 樋口 明子

《 教育セミナー「脳腫瘍患者のトータルサポーターシップケア」 》

10：00～10：40 教育セミナー 1

脳腫瘍患者における感染症対策

座長 中洲 敏
共催 塩野義製薬株式会社

広島大学病院 感染症科 大毛 宏喜

10：40～11：20 教育セミナー 2

脳腫瘍患者・家族への心の支援：精神腫瘍学の立場から

座長 吉峰 俊樹
共催 株式会社メディカ・ライン／ケイズ株式会社

岡山大学 精神科神経科 内富 庸介

11：20～12：00 教育セミナー 3

脳腫瘍患者のリハビリテーション：生活の再構築から緩和ケア、グリーフケアまで

座長 倉津 純一
共催 日本臓器製薬株式会社

広島大学病院 リハビリテーション科 木村 浩彰

12：00～13：00 教育セミナー 4（ランチョンセミナー 3）

脳腫瘍患者におけるてんかんの治療方針

座長 若林 俊彦
共催 大塚製薬株式会社／ユーシービージャパン株式会社

広島大学 脳神経外科 飯田 幸治

本セミナーは、日本脳神経外科学会生涯教育プログラムの一環として、日本脳神経外科学会脳腫瘍関連4学会合同生涯教育セミナーを兼ねております。

監修：嘉山孝正先生（一般社団法人日本脳神経外科学会脳腫瘍関連4学会統括委員長）

本セミナー受講後は、日本がん治療認定医機構学術単位取得申請用の受講証明書と、日本脳神経外科学会脳腫瘍関連4学会合同生涯教育セミナー修了証をお渡し致します。

13：00～13：05 次期会長挨拶

第31回日本脳腫瘍学会会長 竹島 秀雄

13：05～13：10 閉会挨拶

第30回日本脳腫瘍学会会長 栗栖 薫